

仏事コーディネーター
資格取得者を訪ねて
BUTSUJI-COORDINATOR

丸金横江仏具店 (愛知県豊橋市)

「地域の人々に親しまれる店づくり」

新村和秀氏
三浦達也氏
乗松弓香氏

丸金横江仏具店は豊橋の本店を中心に墓石シヨールーム、二川バイパス店をはじめ、葬祭部門では井原ホール(豊橋市)、湖西ホール(湖西市)、渥美ホール(田原市)を展開。豊橋市から静岡県にまたがる広範な市場をカバーしている。同社は創業が昭和二十八年、現社長の横江功好氏は三代目。葬祭部門、墓石部門をスタートさせたのは今から十二年前、仏壇部門と並び市場拡大の大きな力となっている。仏壇仏具の販売と併行し、寺院仏具の製作修理、お仏壇の洗濯修理にも対応。木工部には専門のスタッフ



左から乗松弓香氏、新村和秀氏、三浦達也氏
(丸金横江仏具店)



一階シヨールーム (丸金横江仏具店)

フが在籍しあらゆる作業を手がける。仏事コーディネーター資格取得者は七名在籍(平成二十七年二月現在)、葬祭ディレクター、お墓ディレクターなどの資格取得者も多数在籍している。

今回、取材の御協力を頂いたのは新村和秀氏(本店店長)、三浦達也氏(営業二課係長)、乗松弓香氏(本店スタッフ)の三氏。新村氏の出身は豊橋市、高校卒業後、飲食業に従事していたが、二十年前、同社に転職した。仏事コーディネーター資格(ゴールドカード更新)以外に終活カウンセラーの資格も取得しており、仏壇・葬祭両部門で欠かせない人材として多忙な業務をこなす。三浦氏(ゴールドカード更新)は田原市の出身、高校卒業後、家業の農業に従事。三十二歳頃縁あって同社に入社した。実家には仏壇もあり、仏壇は身近な存在であった。乗松氏の出身は浜松市、高校卒業後、販売職に従事。同社社長の縁戚にあたり、子供の頃から馴染み深い場所であった。仏事コーディネーター資格は昨年取得、まだまだ覚えることは多く、日々、仏事の研鑽に努めている。同社に訪れるお客様は地域の習慣やお客様に詳しいお客様も多く、逆に教えて頂くケースが時々あるという。資格取得後、さらに自信を持って仕事に臨めるようになったと三氏は異口同音に話す。

資格は他店との差別化、お客様の安心、信頼にもつながり、社内全体に活力を与えている。資格の活用は新聞のチラシ広告、名刺への印刷など多岐に及び、お客様の認知度は年々増加。最後に今年受験に挑戦する人、受験を考えている人にエールをお願いした。新村氏は「自分のスキルアップにつながりますので是非チャレンジしてほしい」。三浦氏は「仕事以外にも役立つことがあります」。乗松氏は「女性のチャレンジを期待しています」とそれぞれ励ましの言葉を送る。